



急性期脳梗塞治療ネットワーク

～埼玉県では、埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワーク「SSN」の運用が平成30年1月から始まっています～

急性期脳梗塞治療とは、血栓を溶かす薬を点滴投与するt-PA治療や、カテーテルで血栓を取り除く血栓回収療法などを行う脳血管内治療です。いずれも発症してから治療を受けるまでの時間が短いほど、麻痺や言語障害などの後遺症を防げる可能性が高まります。また、SSNは急性期脳梗塞の疑いがある全ての患者さんが対象です。少しでも疑いがあるようでしたら、ためらわずにすぐに救急車を呼んでください（その際に発症時間を記録してください）。

埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワーク(SSN)参加医療機関

埼玉県北部	基幹病院 深谷赤十字病院 循環器・呼吸器病センター (埼玉医科大学国際医療センター) (埼玉医科大学総合医療センター) (埼玉石心会病院)
	連携病院 関東脳神経外科病院 熊谷総合病院 行田総合病院 羽生総合病院

※()は基幹病院を後方支援する医療機関です。
※SSNは「Saitama Stroke Network」の略称です。

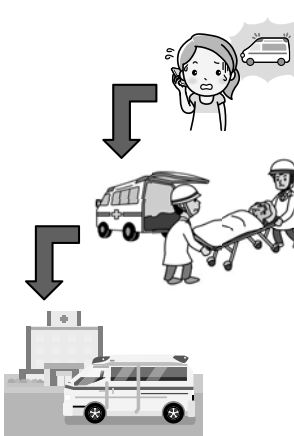
SSNとは、急性期脳梗塞治療が必要な患者さんを、救急隊の判断で秩父管内の病院を経由せず、SSN参加医療機関に直接搬送する仕組みです。※秩父地域の患者さんの主な搬送先は次の表のとおりです。

救急隊が症状を確認し、急性期脳梗塞治療が必要な場合は、SSN参加医療機関に受入要請、救急車で直接搬送します。救急隊とSSN参加医療機関との広域連携により、患者さんを迅速・円滑に受け入れることができます。

急性期脳梗塞の代表的な発症のサイン

- ・体の片側だけがしびれる、力が入らない、動かせない
- ・ろれつが回らない
- ・とつさに言葉が出ない、相手の言うことが理解できない
- ・左右のどちらかにある物が見えていても認識できない
- ・片側の目が急に見えなくなる
- ・めまい、ふらつき
- ・激しい頭痛 など

一時的に回復したとしても、このような症状が起きた後は、急性期脳梗塞を発症する危険性が高いです。早期に治療すれば、回復する可能性が高まりますので、発症のサインを放っておかないように気をつけてください。



市では、市民の皆さんが安心・安全に生活ができるまちづくりを目指し、市道の整備・点検などを実施しています。

このたび、滝の上町地内の国道299号と市道（幹線）3号線が交差する視目坂下交差点南側の市道部分について、地権者の方のご理解とご協力をいただき、車道ならびに歩道の整備を行えることとなりました。貴重な土地を道路用地としてご提供いただき地権者の方には、深く感謝申し上げます。

この市道（幹線）3号線の沿線には、西小学校と秩父第一中学校、

視目坂下交差点南側に歩道整備!

市長 久喜 邦康

「和を以って
たつと
貴しと為す」

今後とも地元の方々と連携を図りながら市道整備などを実施し、市民の安全確保に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

高等学校があり、多くの児童生徒や学生たちが通学路として利用しています。また、永田保育所、市立病院、保健センターなどの公共施設をはじめ、医療、福祉、商業などの民間施設も多く、救急車両の通行や路線バスの運行経路としても使用されており、主要な路線の一つです。通勤時間帯には交通量も多いことから、歩行者の安全確保を最優先に考え、歩道を中心とした道路整備をすることとしました。道路改築工事期間中は地元沿線にお住まいの方をはじめ、市道（幹線）3号線を利用される皆さんには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。



視目坂下交差点